

うるま市議会

だより

第15号

平成21年(2009)
発行/3月2日



闘牛



エイサー



肝高の阿麻和利

「うるま市観光三大イベント
モニタリングツアー」

闘牛

エイサー

肝高の阿麻和利

石川多目的ドーム
きむたかホール
石川会館

一般質問(12月定例会)

12月定例会には、24名の議員が市政全般について一般質問を行いました。本紙面は、「市議会だより」申し合わせ事項により掲載されています。紙面の都合上、簡潔な表現になっております。なお、詳しい内容については市議会会議録を自治公民館、市内図書館、議会事務局、議会のホームページでご覧ください。

目次

議員定数調査特別委員会設置・シンポジウム……	2
一般質問……	3
第42回定例会・第43回臨時会議決結果…	15
うるま市議会組織構成図……	16
議会活動・行政視察受入状況……	17
行政視察について……	18
うるま市観光三大イベント写真集……	20

■発行：うるま市議会 ■編集：議会広報編集調査特別委員会

住所 〒904-2292 うるま市みどり町1-1-1 電話 098-973-3511 FAX 098-973-8123

議員定数調査特別委員会設置される

うるま市議会の議員定数につきましては、議会の内外からいろいろのご意見がありました。

この度、うるま市の現状や地理的状況を勘案し、うるま市議会の議員定数が妥当であるのかどうかを含め、あらゆる角度から調査、検討する必要性に鑑み、先のうるま市議会十二月定例会本会議において十二人の委員で構成する「議員定数調査特別委員会」の設置が決定されました。

議員定数調査特別委員会では、これまで、委員会の調査・審査日程（スケジュール）や調査項目等についての協議また「全国及び県内

市議会議員の定数に関する調査資料」、「類似市の議員定数の調査資料」等の検討資料に基づいて、各委員の議員定数に対する考え方等意見交換などの協議を行なっています。今後、委員会では学識経験者などから参考人として意見を聴取する予定であります。

審議の経過について

第一回委員会（平成二十年十二月二十四日）

○正副委員長の選出について

第二回委員会（平成二十一年一月二十七日）

○今後の審査・調査に関する調査項目等について

○議員定数に関する調査日程等について

第三回委員会（平成二十一年二月五日）

○議員定数に関する調査について（調査資料の確認、質疑及び意見等）

第四回委員会（平成二十一年二月十三日）

○各委員の議員定数に対する考え方について（意見交換等）



「ホワイトビーチ米原子力潜水艦寄港問題」をテーマにシンポジウム開催

「ホワイトビーチ米原子力潜水艦寄港問題」をテーマにしたシンポジウム「米軍再編とどう向き合うかパート3」（主催：沖縄の「基地と行政」を考える大学人の会、後援：中部市町村会）が2月15日にきむたかホールで開催された。

「太平洋における米原潜活動の現状と問題点」と「放射能の正しい認識とホワイトビーチ・モニタリングの現状」について、各専門家からの基調講演があった。

その後のパネルディスカッションでは、米国原子力潜水艦のホワイトビーチへの寄港が急増している背景や行政の対応について意見交換が行なわれ、パネラーとして参加した本市議会の東浜光雄基地対策特別委員長からは、米国原子力潜水艦のホワイトビーチ寄港に反対する決議等市議会の活動について報告がなされた。





一 臨時職員問題について
二 後期高齢者医療制度問題について
三 予算・財政問題について
四 基地問題について

田中直次

一 臨時職員問題について

質問 臨時・嘱託職員の夏と冬の一時金支給制度とあわせて、年収を正規職員並に引き上げ、正規員化を拡大すべきと考えるが。

答弁 総務部長 本市は一時金の分を日給に加算する方法で対応している。年収を正規職員並の支給と正職員化については、地方公務員法と法律の範囲。国、県の指導の範囲で正職員の採用、臨時職員の任用を行っている。

質問 後期高齢者医療制度問題について

質問 世帯分離した場合の保険料について、例えば父親の年金収入が百六十万八千九百九十六円。母親が七十九万三千九百八十八円。子供が五百三十五万九千九百九十五円の場合の保険料はどうなるのか。

答弁 市民部長 質問の世帯収入で、保険料の比較をした場合、同居の場合の保険料は十万二百七十六円となります。(世帯分離した場合)八万二千五百三十円の開きがあることになる。

質問 三 予算・財政問題について

多くの自治体で出てきてい

る問題は、自治体経営論です。自治体は経営するものだという感覚で行政をやってもらうと、市民の暮らしは改善できないのではないかと自治体経営論発想を転換することが求められている。

答弁 企画部長 自治体の経営論については、民間企業が求める成果主義、効率性、収益性、事務の効率化を図るための民間活力の積極的な導入などをさせている。行政においては、最少の経費で最大の行政効果をあげるとしていることは、基本原則であると考えている。

四 基地問題について

質問 アメリカ軍人などが「公務外」で罪を犯した米兵に対する裁判権は、(うるま市で)当該事例が発生した場合、市として裁判権を主張すべきだと思いが。

答弁 企画部長 米軍による事件、事故が多発する現状において、市民の人権や被害者への補償など、根幹となる問題であり、行政としては市民が不利益を被らないように求めていく必要があると考えている。



一 学校適正化について
二 市の施設の安全・管理について
三 泡瀬埋め立て問題について
四 ごみの不法投棄について
五 教育環境について

島袋行正

一 学校適正化について

質問 学校適正化配置計画では、既に答申もでていますが、その後の進捗状況。

答弁 指導部参事 事務局は答申の検証を行い、内部検討委員会を充足し、十月二十九日までに学校適正配置基本方針、素案等について計六回調査検討をした。それをもとに津堅島を除く島嶼地域、平安座、宮城、伊計、浜比嘉の中学校区で、説明会、並びに意見交換会を保護者と地域住民に分けて計八回を実施した。説明会では、様々な意見、質問、要請等数多くあり、今整理している。事例として、「統廃合したら、スクールバスはできるのか」「早急に統廃合を進めて欲しい」「行政側は遅れているのではないか」等があった。

二 市の施設の安全・管理について

質問 学校の統廃合は時間をかけて、地域と保護者に十分に説明をし、理解を求めて進めて行くのがベストである。本市島嶼地域は、校舎の老朽化が進み、学校の施設環境を考えると早急に子供達の教育環境を整えて、押し進めてもらいたい。

答弁 指導部参事 教育委員会としては、答申を尊重し、市長部局とも調整をしながら、早急に取り組みを強化していきたいと考えている。

三 市の施設の安全・管理について

質問 市の施設の安全管理について進捗及び付帯設備、公園の整備、学校の遊具は。

答弁 建設部長 道路及び付帯設備

の管理状況については、総点検として年二回四月と十月に実施している。

答弁 都市計画部参事 公園の整備について、八十カ所の都市公園を輪番制によって数カ所ずつ巡回し管理している。

答弁 指導部長 学校の遊具について、月一回全職員体制による安全点検を実施している。

三 泡瀬埋め立て問題について

質問 泡瀬埋め立て問題は、本市に影響あるのか。

答弁 経済部長 中城湾新港地区の東埠頭のしゅんせつ土砂の受け入れ先がなくなり、整備が遅れ官民を含め、地域に与える影響は非常に大きい。

四 ごみの不法投棄について

質問 ごみの不法投棄の現状と対策は。

答弁 市民部長 悪質な不法投棄はまだ現実であり、警察署と協力してパトロールを強化し不法投棄を防止していきたい。

五 教育環境について

質問 教育環境について、児童生徒の携帯電話の状況と対策は。また薬物汚染が低年齢化していることについての本市の現状は。

答弁 指導部長 携帯電話の学校への持ち込みは原則禁止とし、許可制にしている。本市にはまだ、例がないが問題の重要性をかんがみ、薬物乱用防止に関する指導の徹底を図っている。



- 一 財政運営について
- 二 水道事業と下水道事業の組織統合について
- 三 契約事務について
- 四 中小企業支援策について
- 五 住宅改修費の受領委任払いについて

なかもと たつお
仲本辰雄

一 財政運営について

質問 枠配分方式による予算編成の成果と課題について。

答弁 企画部長 経費の節減、抑制の効果及び合理性の面から一定の成果を上げている。当初の目標に掲げた削減、数値に及ばないという課題もある。

質問 行政評価制度の評価結果を予算編成に活用することを考えるべきではないか。

答弁 企画部長 同制度は来年度からの導入を目指して、準備が進められている。今後は制度の評価結果を活用していきたい。

二 水道事業と下水道事業の組織統合について

質問 本市で組織統合は可能か。

答弁 総務部長 現状において統合は困難である。しかし、今後県における水道事業統合に向けての検討経過、成り行き等を踏まえながら、検討の余地は残していく。

三 契約事務について

質問 ①工事の発注について早期発注ができないか。②工事代金の支払いをスピードアップできないか。③単品スライド条項が運用された件数。

答弁 都市計画部長 ①今後とも関係機関と調整を行い、早期発注に努めたい。②支払い手続きの迅速化に努めたい。③一件。

四 中小企業支援策について

質問 ①金融危機による本市経済への

の影響をどのように認識されるか。②緊急保証制度にどのような期待を持っているか。

答弁 経済部長 ①経営は大変厳しい状況にあると認識している。このことは雇用状況にも反映され、採用の見送りやリストラ等にもつながり、失業率の増加という悪循環に陥っていくのではないかと、大変危惧している。②今後国が指定業種を追加することによって、さらに幅広い中小企業等の経営安定が図られるものと期待をしている。

質問 ①緊急保証制度を広報に載せてもらいたい。②市の中小企業支援策はどのようなものがあるか。

答弁 経済部長 ①中小企業への周知を図る上からもぜひ広報誌に掲載していきたい。②県融資の小規模企業対策資金の融資を受けた市内の中小企業の育成及び振興を図るため、借り入れる際に必要な信用保証料に対し三十%、上限十百万円の補助を予算の範囲内で実施している。

五 住宅改修費の受領委任払いについて

質問 取り組んできた経過。

答弁 福祉部長 来年四月から実施する方向で調整をしている。要綱等の整備を行い、三月中に事業者への説明会を開催、市民にはケアマネージャー、広報やホームページ等への掲載等により周知を図るという方向で進めている。

一 商工行政について

質問 緊急保証制度の①職員体制強化、②決裁の対応、③断られた場合の相談、④協力体制について伺う。

答弁 経済部長 ①早めに恩典が受けられる様検討していく。②三日程で速やかに行っていく。③滞納等があれば、分納をお願いし、受けられるよう配慮する。④商工会、銀行に協力してもらえらると思つて

二 江洲第二区画整理事業について

質問 ①当初計画時の完了年度、総事業予算、②組合の役割、運営費、人件費等、③平成二十二年度完了見通しについて伺う。

答弁 都市計画部長 ①十七年度完了予定。二十三億三千六百万円。②所有権、借地権を有する者が組合を組織し、事業を施行。十九年度決算で一千九百五十万円。職員三人、人件費一千二百四十万円で事務所費七百十万円。③早期に完了できるように、技術的支援をしていく。

三 福祉行政について

質問 障がい者自立支援法施行後、障がい者や施設を取りまく実態は深刻な状況で、部分的見直しではすまされない事態である。国に廃止を求めることについて伺う。

答弁 福祉部長 利用する上で問題点も生じている。国は緩和を図ってきたが、利用者や施設関係者にとつて不安、心配を抱えた状況にある。課題解決を求めると同時に要望を行っている。推移を見ながら対応したい。廃止については、その立場にない。



- 一 商工行政について
- 二 江洲第二区画整理事業について
- 三 福祉行政について
- 四 インターナショナルスクールについて

いもり さちこ
伊盛サチ子

題点も生じている。国は緩和を

質問 県は寄付を募って建設費を捻出するという事だが、予算を確保する状況が見えてこない。条例廃止にも疑問がある。開校六年間無償で貸与ということについて伺う。

答弁 市長 基本設計が完了しない事には、概算の積み上げができない。七年後からの賃貸料は、当初方針どおり有償。旺文社の意向であり、行政、県としても旺文社の考え方を尊重し、今後可能なり限り応援していきたい。

四 インターナショナルスクールについて

質問 市民や議会に対して、野外レクセンタールに誘致するという合意がされていない中で進められているが、市民の意向はどうなのか。

答弁 市長 独断で市民、議会の意向を無視し、決定したのではない。場所について報告をしたいと相談したが、事前に情報が公開された場合、開校ができなくなると想定されるので、意図的ではなく、諸般の事情があつたこと。



金城勝正

- 一 宇具志川地内排水溝の改良について
- 二 具志川二一七五号線道路改良工事（具志川小学校通学路歩道設置工事）について
- 三 上江洲地内市道五〇〇九号線道路改修工事について

一 宇具志川地内排水溝の改良について

質問 この排水溝は蓋が無いために、地下のあらゆるところを通ってきたネズミやゴキブリがここで這い上がってくると考えられることや排水も地下を通って流れてくる。この区間だけで動物の駆除や悪臭対策を施しても限界があることから、長年にわたり抜本的な改善を要請してきた。早期の改善を求めたい。

答弁 市長 この間およそ八十mについて蓋がないということ、危険防止、或は環境衛生の面からどのようにこの排水溝の改善、改良ができるかということを内部で調整をして検討していきたいと考えている。

二 具志川二一七五号線道路改良工事（具志川小学校通学路歩道設置工事）について

質問 現在、工事にかかる建物の一部取り壊されたものもあるが、土地、建物の物件補償は何件あるのか。又、これまでの工事の進捗状況について伺う。

答弁 建設部長 土地物件補償等の全体契約については土地で二十三筆、三千四百四十一㎡、物件補償

等で十一件、その他工作物となっている。今後の計画としては、平成十九年度で実施設計、分筆を行い、平成二十年度は用地、建物、工作物等の補償を行っている。平成二十一年度から用地、建物の交渉取得を含めながら工事に着手していき、平成二十三年度までには整備を完了したいと考える。

三 上江洲地内市道五〇〇九号線道路改修工事について

質問 この市道の沿線は大田側のほうから住宅が迫ってきている。前回も質問したが、この市道百十二号線から市道百十三号線のこの間の市道五〇〇九号線が整備されると、沿線の住宅建設はさらに加速されていくものと思われる。継続した早期の道路整備に取り組んでほしいが。

答弁 建設部長 本年度、下水道の施設整備が完了することによって、沿線の住宅建設は更に加速されていくものと思われる。そういうことから大田、上江洲両自治会とさらなる調整を重ねて、本路線の整備改善については検討していきたい。



松田久男

- 一 周辺地区の振興について
- 二 大学院大学先行プロジェクトについて
- 三 石川会館（旧石川市民会館）の閉鎖について
- 四 期日前投票所について
- 五 インターナショナルスクール建設について

一 周辺地区の振興について

質問 全国的にも合併後に周辺地域が疲弊しているとの指摘もあるが、うるま市における周辺地域の振興策の全体像はあるか。

答弁 企画部長 石川地域は市街地再生、土地区画整理、レクリエーション観光、大学院大学関連整備。与勝地区は勝連城跡や東海岸開発、津堅架橋促進、などを進めたい。

二 大学院大学先行プロジェクトについて

質問 うるま市に関連する交通拠点と住宅整備計画の進展はどうか。また最近悪化している西地区の悪臭問題は検討されているか。

答弁 企画部長 専門部会が近く開催される予定である。悪臭問題については全庁的に取り組んでいく為の話し合いを行っている。早い時期の対応を図りたい。

三 石川会館（旧石川市民会館）の閉鎖について

質問 石川会館が閉鎖されるとの情報があるがその事実はあるか。

答弁 教育部長 幅広く利用されており教育委員会としては考えていない。

答弁 企画部長 査定をして三役会議に計り、似たような施設は廃止、統合していきたい。

四 期日前投票所について

質問 人員削減の理由で削減されたが四カ所ではなく三カ所では可能か。

答弁 選挙管理委員会事務局長 かなり厳しいと考える。

三 インターナショナルスクール建設について

質問 沖縄県の責任とされる建設費が不明な状態であるが財源問題から建設中止となった場合、市民や旺文社から訴えられる可能性は無いのか。また頻繁に利用されているトレーニンング施設や遊具は何処に移設されるか。

答弁 企画部長 財源は募金に頼るが困難とは思わない。うるま市が訴えられる可能性は無いと思う。トレーニンング施設は市の所有ではない。遊具は市民の森公園を検討中である。



一 道路行政について
二 農道整備について
三 保育行政について

喜屋武正伸

一 道路行政について

質問 県道十六号線（高江洲地内）の歩道未整備部分の進捗状況を伺う。

答弁 建設部長 現在、県は物件調査を進めており、年度内には交渉を行い、次年度には予算要求を行うと聞いている。

質問 旧高江洲公民館前の県道の排水溝のグレーチングから排水が出ているが整備の計画を伺う。

答弁 建設部長 側溝と、ますをつなぐヒューム管が小さい為雨水が導けず流出しており県は調査をして、対応すること。

質問 県道十号線、大田地内、運動公園入口の道路の滞留水について伺う。

答弁 建設部長 グレーチングに木の葉などが滞留して、雨水がさばけていないのと、道路に若干のくぼみもあり、県と調整し、対策をしたい。

二 農道整備について

質問 高江洲幼稚園裏の農道は、わき水が流れ出て支障をきたして

いるが整備計画を問う。

答弁 経済部長 わき水対策しながら工事をしたが、現在、対策方法の再検討をしながら工法等ができれば早急に対応していきたい。

質問 高江洲地内農道一号线交差点の停止線の設置計画について伺う。

答弁 経済部長 農道の関連工事として対応を予定しており、うるま署とも協議しながら早急に対応していきたい。

三 保育行政について

質問 現在の待機児童数を伺う。

答弁 福祉部長 百六十八名です。

質問 国、県の基金新設内容について伺う。

答弁 福祉部長 財源充当については四項目示されており、本市においては、基金を活用し、認可外保育施設に、保育材料費及び備品購入費を予定している。待機児童対策としては、弾力化による定員増や、定員見直し、認可外保育園の認可化についても視野に入れながら対応していきたい。



一 市内中学校の吹奏楽部について
二 IT津梁パークの進捗状況について
三 インターナショナルスクール施設建設資金の確保について

川野進也

一 市内中学校の吹奏楽部について

質問 市内中学校吹奏楽部の楽器の整備状況と、吹奏楽コンクールへの出場状況を伺う。

答弁 指導部長 市内十三中学校十校に吹奏楽部があり、約半数が楽器が不足である。楽器一台当たり高価である為に備品として補充する事は難しい。吹奏コンクール出場状況は、各校さまさまなコンクールに参加している。

質問 年次的に予算を組んで一校ずつ楽器の整備をすべきでないか。

答弁 指導部長 各部の子ども達が頑張れるように応援していきたい。

二 IT津梁パークの進捗状況について

質問 IT津梁パークの進捗状況について伺う。

答弁 企画部長 今年度からコア開発や人材育成等の中核的な機能を集約する中核機能支援施設の整備に着手しており、去る十月四日にはA棟の起工式

が行われ、本年度末の完成を予定している。又、沖縄県情報通信関連産業団体連合会を中心に検討され十月一日、ソフトウェア開発会社も立ち上げ、中心的企業としてA棟への入居が予定されている。

三 インターナショナルスクール施設建設資金の確保について

質問 市長はインターナショナルスクール誘致は千載一遇のチャンスと答えている。私も同感であり、強力に推進してほしい。

答弁 市長 市民の期待にこたえられるような学校ができるように、一生懸命に取り組んでいく。

質問 建設に必要な資金確保は可能だと判断しているとの事ですが、財務省の指定寄付の申請を行えば、寄付した企業の優遇措置が受けられるか。

答弁 企画部長 寄付した金額を法人税法並びに所得税法の規定に基づき、全額損金に算入する事ができる。その事から積極的な支援が受けられると考えている。



照屋 義正

一 野外レクリエーションセンター条例を廃止する条例について
 二 サトウキビ生産振興について
 三 中学三年生までの医療費無料化について

一 野外レクリエーションセンター条例を廃止する条例について

質問 全国で活性化が失われている中で、本市は大学院に続いて、IT津梁パーク、インターナショナルスクール立地の三大事業は人材育成が基本であり、尚、一層の努力を期待したい。野外レクセンターは今でも市内外より十万人余の利活用がある。利用中の行政財産を廃止し、別の事業を整備していくことはこれまで無かった事である。沢山ある候補の中で野外レクセンターを選定した理由について伺う。

企画部長 大学院周辺が適地だと考え、建物の老朽化等を踏まえて用途の変更が可能と判断。

質問 当センターを最初に候補地に挙げたのは県か市か。

企画部長 県です。

質問 中高年労働者福祉施設は国が各県一カ所を基本に広域内に誘致した経緯がある。国・県へ報告し、理解を求めた事について。

企画部長 国と雇用能力開発機構へ相談している。

質問 当センターは計画から商工会青年部・婦人会等市民一丸となって整備されたが、団体及び市民への説明会を何回開催したか。

企画部長 市内の十四団体に三回開催し、約二百五十人が参加した。

質問 石川及び兼箇段の県園芸支脚跡地も最適地と思われるが、その面積について。

企画部長 約八・七ha私有地が約十%である。

質問 当センターの代替施設計画について。

企画部長 既存の施設に代替させていきたい。

質問 中南部の市街地に近く、貴重な自然が多い当センターを廃止することは残念なことであり、インターナショナルスクールは市内の他の適地に整備をお願いしたい。

企画部長 特に一カ所に施設が集中していることは類を見ないことである。市内外から多くの方に利用されている施設を廃止することはきびしい選択であった。

二 サトウキビ生産振興について

質問 増産に伴う製糖期の十二月開始について。

経済部長 十二月開始については協議会の議題に上げ検討していきたい。

三 中学三年生までの医療費無料化について

質問 国保税の徴収率を上げることによって普通調整交付金のカット分約一・五億円が交付されることにより、中学三年生まで医療費の無料化が出来ないか伺う。

市民部長 貴重な提言であり、徴収率をアップしてカット分の回避のため一生懸命頑張りたい。医療費無料化は、検討課題。



宮城 茂

一 防犯灯の設置について
 二 トライアスロン大会の開催について
 三 少年院施設の建設予定地について

一 防犯灯の設置について

質問 市道四号線石川漁業組合入口から市道十一号線（居酒屋海鮮小町、七海ビル）方向の間に防犯灯の設置はできないか。

市民部長 この箇所は防犯灯はもちろん、ほかの照明もなく、暗いところであることは現場を見て感じている。防犯上それから交通安全の面から関係部署とも協議して、そこに設置が可能かどうかも含めて検討していきたい。

二 トライアスロン大会の開催について

質問 本市（与那城地区、あやはし周辺）においてトライアスロン大会を開催する考えはないか。

経済部長 うるま市においても昨年より、沖縄県の体育協会の非採点競技として海中道路を会場として開催している。

経済部では、四月にあやはし海中ロードレース、それから十月にうるま祭り、十二月の産業祭りと、

今多くのイベントを抱えている状況です。

新たにトライアスロン等の競技を開催することについては大変厳しいものがあると考えている。

三 少年院施設の建設予定地について

質問 本市の石川高原線（ビオスの丘）周辺に、少年院施設の建設が予定されていると聞かすが、本市の対応について伺う。

市民部長 十月二十八日に沖縄少年院の院長、沖縄女子学園長はじめ、四名による市長表敬訪問を受けた。少年院施設建設については、地域の三自治会長とも、少年院からの説明を受けるまでもないということでも絶対反対ということでは、

私もはそのような住民の意向を尊重して、このことについて、次回、もし住民からありましたら、それも伝えながらしっかりした対応をしていきたいと考えている。



川上 秀友

一 自治会について
二 税について
三 平安座西公園について

一 自治会について

質問 本市の組織された六十三自治会は、任意団体ですが、現在行われている事業等について伺う。

答弁 市民部長 市と事務委託契約を締結し、行政連絡事項や広報等の配布を委託している。

質問 その自治会は、公益団体なのか、あるいは営利団体なのか。

答弁 市民部長 公益団体である。

質問 自治会は本市の行政運営に対して、どのような役割を果たしているのか。また自治会に対する評価は。

答弁 市民部長 行政と住民のパイプ役である。また対等なパートナーとして住民の生活向上と、地域の発展や良好な地域環境づくりに、行政と協働する関係にある。また市行政のスムーズな運営に対し、貢献していると評価。

二 税について

質問 自治会所有の固定資産に対する非課税の理由について伺う。

答弁 総務部長 公益のために直接占有する固定資産は、税条例の規定を適用し、全額減免である。

質問

自治会の事業はすべてが公益事業で、その自治会に対して税の発生する理由はないと思うが、本市はどう取扱うか伺う。

答弁 総務部長 法人市民税が発生する場がある。

質問 自治会は公益団体で、市に対しても大きな貢献があり、その自治会に対して法人市民税を課すことにより、運営が窮地に陥ることになる。公益性の観点から、税法上、法人市民税の減免は可能か伺う。

答弁 総務部長 税法で公益上の事由により、課税が不適当な場合は課税免除の規定がある。運用については、地方税法上、条例で規定する必要がある。

三 平安座西公園について

質問 未だ整備が不十分であるが、今後の整備計画は。特にトイレ、東屋等。

答弁 都市計画部参事 現在改修計画はない。今後はトイレの水洗化、および東屋の新設が必要であると思う。



安慶名 正信

一 学校適正配置基本方針について
二 具志川野外レクセンター条例廃止について
三 コミュニティバスについて

一 学校適正配置基本方針について

質問 ①島嶼地域における複式学級の解消について保護者や地域住民にどのような方策で取り組むか。

②島嶼地域では、一島一校の学校を残そうと望む声が多いがどのように理解を求めていくか。③学校適正配置基本方針（素案）の内容について、島嶼地域全体が共通理解、共通認識を持つためにも一堂に会した住民説明会を開催すべき。または子ども達地域の皆さんへのアンケート調査も必要と考えるが。

答弁 指導部参事 ①基本的に適正規模の確保を目指すもので、段階的方策として、島嶼地域においては、複式学級や地域特性のよさを認知しつつ、複式学級を解消し、ある一定規模の生徒数の確保に努めたい。市全体を見渡した通学区域の見直しや弾力化等についても取り組みたい。

②は、児童生徒数が各島に各校区において、複式学級が解消できるぐらい増えないと一島一校の存続は難しいと考える。

③は、パブリックコメント等で集約した数々の意見を学校適正配置基本方針（素案）に添えて、市学校適正配置基本方針策定に向けて、教育

委員会に議案として提案したい。

二 具志川野外レクセンター条例廃止について

質問 ①法の基定に基づき、野外レクセンターの設置及び管理に関する必要な事項を定めてある。条例の重みをどのように受け止めているか。

②県の要請に野外センターを廃止するのではなく代替施設の要求すべし。市民からレクセンターを奪ってはならない。

③市民の会からの立て看板について、どう受け止めているか。

答弁 企画部長 市内外の皆さんに活用されてきて、非常に福祉施設として大きな成果があった。②は、同様の施設を新設するのは、非常に難しい。③は、理解していただけるように説明会等を継続していきたい。

三 コミュニティバスについて

質問 庁舎間の連絡バスの運行状況、今後のコミュニティバス運行についての基本的な考えを伺う。

答弁 企画部長 七月が二百二名。八月が百五名。九月が百四十五名。十月が百四十四名。十一月が二百三十六名。コミュニティバスの本格的運行計画は煮詰まっていない。



一 与那城西原道路について
 二 ESCO事業について
 三 インターナショナルスクールについて
 四 公・農・漁連携で地域活性化を

ながたまえ
 永玉栄 靖

一 与那城西原道路について

質問 市民から再三、声のある与那城西原道路、非農用地区内道路のアスファルト舗装がされてないが、合併特例債も活用してやってほしい。

答弁 合併特例債の実施状況も市全域の活用が二十七億円、具志川地区六十七億円、石川地区四十一億円、勝連地区六億円、与那城地区二億円である。特例債を有効活用するためにも市長の任期中に出来ないか伺う。

質問 建設部長 住宅の立地あるいは地区での交通状況を見ながらその維持管理の範疇において当面の間は路面の補修等に対処していきたい。

二 ESCO事業について

質問 省エネを見込んでESCO事業を導入したと思うが光熱水費削減実績、CO2削減量、削減結果はどの様になっているか。ESCO事業の特定財源や一般財源の内訳を問う。

答弁 総務部長 平成十九年度実削減額は一千四百五十四万円で削減電力量は六十四万二千八百五十二kwhでCO2削減電力量は年間約四百四十三tです。ESCO事業の契約期間は十二年、平成十八年から平成三十年までの支出は、総額で一億四千八百六十八万円です。平成十八年度は

一千三百五十二万三千円で平成十九年度は一千四百四十六万五千円となっている。

三 インターナショナルスクールについて

質問 具志川野外レクリエーションセンター条例を廃止する条例が今定例会で提案されている。廃止した場合、恐らく返還金が目的外使用であるから出てくると考える。そのことについて伺う。

答弁 企画部長 現在、総合事務局の方でもできるだけ返還金がでない様に計らっていききたいとのことですが、

四 公・農・漁連携で地域活性化を

質問 人間の豊かさとは第一次産業の発展にあると思う。しかし、生産者の経営に利益が伴わなければ、生産していけない状況もある。うるま市においても第一次産業の地産地消についての取り組みの資料等があれば提出して説明を伺う。

答弁 市長 公・農・漁連携ということについて、市内の農産物、海産物等、行政として可能な限り対応してきた。引き続き地産地消を中心とした産業活性化に全力を尽くしていきたいと考えている。



一 市民音頭について
 二 定額給付金について
 三 福祉について
 四 公営住宅の適正な管理について
 五 教育行政について

ひが
 比嘉 敦子

一 市民音頭について

質問 市民音頭の制定については三回目の質問になるが、どのように取り組んでいるのか。

答弁 企画部長 平成二十一年度中にできるように努力をしたい。

二 定額給付金について

質問 ①本市に給付される概算総額 ②支給方法と体制について ③経済効果について

答弁 総務部長 十一月末現在の住民基本台帳の登録数、世帯構成者一人につき、一万二千元、基準日において六十五歳以上の者及び十八歳以下の者一人、二万円、額として十七億八千四百七十六万四千円。②郵送申請方式と窓口申請方式による振り込みでの給付が望ましい。③給付金総額が約十七億八千万円あるので、経済効果はあると考える。

三 福祉について

質問 ①乳幼児健康支援一時預り事業の内容について②利用料金について③現状と課題について

答弁 福祉部長 ①病気の回復期にあつて伝染病性等で保育園に預けることができない乳幼児を市の指定する施設において一時的に預

かる事業②一日二千元、市負担一人四千三百七十円③事業を引き受ける病院がなく、近隣の施設や病院を案内している。

四 公営住宅の適正な管理について

質問 ①火災警報機の設置状況について②財源内訳について③今後の計画について

答弁 建設部長 ①安慶名団地と石川中央団地は設置済み②地域住宅交付金を活用する。概ね一千百一十万円余。③本年度百六十六戸。平成二十一年度百七十四戸、平成二十二年百六十六戸の予定。

五 教育行政について

質問 ①与那城陸上競技場の照明灯整備について②子ども議会について

答弁 教育部長 ①照明灯はついていない。現段階での整備計画はない。②子ども議会議員の皆さんの貴重な質問等を真摯に受け止め、これからの市の教育行政に反映させたい。年一回の子どもの議会については、今後関連部署と協議しながら検討していく。



なかむら まはと
中村 正人

- 一 インターナショナルスクールについて
- 二 沖縄インターハイについて
- 三 学校給食について
- 四 うるま市の経済状況について

一 インターナショナルスクールについて

質問 覚書に至るまで何回の庁議を行ってきたのか。また無償で提供する事は、公有財産検討委員会において審議してきたのか。

答弁 企画部長 二回の庁議連絡会で話し合われている。公有財産検討委員会では検討していない。

質問 準備財団の役割と学校法人に移行しての中身について伺う。

答弁 企画部長 学校に必要な敷地、建物、設備の確保と職員の採用まであり、認可後は全ての財産を学校法人に譲渡をして解散する。

質問 誘致までの経緯を伺う。

答弁 企画部長 複数の自治体に打診が行われた様です。本市にも立地条件等から具志川野外レクリエーションセンターについて、学校用地として提供可能かどうか調査依頼があった。

質問 運営予算、学校経営、教育委員会とインターナショナルスクールとの関わりについて伺う。

答弁 企画部長 学校の経営は補助金と授業料で賄う。国県の予算は二十二億八千二百四十五万五千円で五億三百六十四万四千円が国庫補助金です。この補助金は人件費等です。

今回の私立学校の取り扱いについては教育委員会と調整しながら市長部局で対応していく事としている。

二 沖縄インターハイについて

質問 現在の進捗状況と予算について伺う。

答弁 教育部長 実行委員会の予算は五百六十八万円で与那城多目的競技場整備予算は七千八百万円、開催時の予算で七千五百万円です。市の補助は二千万円、総額はこれからの調整です。

三 学校の給食について

質問 地元の食材活用と地産地消について（モズクの活用について）伺う。

答弁 指導部長 現在、津堅単独調理場や与勝調理場で活用している。今後とも献立を工夫しながら地元モズク活用を考えていきたい。

四 うるま市の経済状況について

質問 過去三年間の業種別倒産件数と負債総額、失業率、所得水準について伺う。

答弁 経済部長 一千万円以上の倒産件数は四件、負債総額六億二千万円、失業率十四・六%、所得水準は百六十九万六千円です。県内十一市では最下位です。



とくだ まはと
徳田 政信

- 一 市民ふれあい農園について
- 二 市営住宅家賃滞納に関する事について
- 三 東照間地内工場等に関する事について

一 市民ふれあい農園について

質問 市民ふれあい農園は地主の厚意により無償で貸与され大事に活用されており地主の方に心より敬意を表するものです。

①農園の概要説明②設置の目的③利用状況④他地区にも設置する計画はあるか伺う。

答弁 経済部長 ①場所は字兼箇段地内、平成十四年開設。面積は千百坪で七十六区画です。②目的は健康で有意義な余暇の確保に寄与する。③利用は全区画活用されている。④今後は市民農園の開設に適切な場所があるか課題である。

二 市営住宅家賃滞納に関する事について

質問 平成十九年度決算で家賃滞納額が一億一千万円、さらに今年八月までの総額が一億一千五十一万四千円余りになり、今年、半年で四百万円も増加している。この現状は無視できるものではない。市営団地の数、合併前の団地別滞納額、現在の滞納額等。又、今後の対策などについて伺う。

答弁 建設部長 具志川地区で五団地二百七十二戸、石川地区が六

団地で二百八十四戸、与那城地区が二団地で十六戸、合併前の滞納額は具志川地区四百三十九万円、石川地区が四千六百四十九万円、与那城地区が百十五万円での時点での最高額が百六十八万円、総計で五千五百万円余りとなっている。又、八月末現在では、具志川が二千四百七十万円、石川が約九千二百八十万円、与那城が百八十万円余りで全団地の滞納総額は約一億一千九百万円余りとなっている。

それから徴収率向上の今後の対策は、今議会にも提案している提訴等も行っていきたい。

三 東照間地内工場等に関する事について

質問 旧与那城町でこの工場を設置するため要した費用の総額、次回の入居企業の募集について伺う。

答弁 経済部長 用地費、道路工事費、敷地造成費が約一億三千万円、建物の取得費が約四億五千万円となっている。入居企業の募集については、十二月五日から市のホームページ等で公募し、二十一年四月より利用開始を予定している。



一 公園整備について
二 環境問題について
三 教育行政について
四 薬物乱用問題について

宮里朝盛

一 公園整備について

質問 喜屋武マープ公園整備事業は、今年度で完了とのことだが、主な整備事業について伺う。

答弁 都市計画部参事 この事業は昭和五十五年度に開始し、平成二十年度で完了予定。総事業費約二十一億二千九百万円の事業で、文化財発掘調査に始まり、用地買収、整備（広場、バスケットコート、テニスコート等）防護柵設置、園路整備、遊具施設等完了した。平成二十年度に頂上部分に展望台を設置し、その上に東屋の設置を予定している。

二 環境問題について

質問 米軍即応訓練（米空軍・海兵隊）合同訓練が十二月一日～五日まで地域住民、自治体の反対を押し切って強行された。この演習に市当局は、騒音実態調査、被害や聞き取り調査等実施されたか問う。

答弁 企画部長 現地へ出向いての諸調査は実施していない。沖縄市からの情報入手、防衛局に確認はしている。今後は市も状況の把握や対応を現場に向向いて実施したい。

三 教育行政について

質問 整備中の事業と今後の建設整備計画について伺う。

答弁 教育部長 整備中の学校は、田場小（体育館）、津堅小中（校舎）、中原小（校舎・体育館・プール）。

今後の計画は平成二十一年～二十三年度までの実施計画。平成二十一年度南原小（校舎）、与那城小（体育館）、平成二十二～二十三年度は校舎（与勝中、伊波小）体育館（具志川中、与勝中、与勝第二中、川崎小）等と整備予定。耐震診断調査結果では、田場小、高江洲小の校舎を計画している。

質問 学校図書館は子ども達の本との出会い、図書への興味、関心と読書の魅力、調べ物、学習等役目は大きいと思う。合併して四年、図書館へのコンピュータ設置は旧具志川地区だけです。（旧石川・与那城・勝連地区）の図書館には導入されていない。学校図書館整備五カ年計画の特別設置を活用する方法もあり、早急に導入してほしいが。

答弁 指導部長 有用性は認識している。予算が一千万円必要。実施計画を出したが、採択されなかった。引き続き導入については取り組みたい。

質問 薬物乱用問題について

答弁 指導部長 薬物問題について学校は、どのように指導、対応しているか伺う。と考えている。学校、地域、行政、諸関係団体と一体となって、薬物から子どもを守る取り組みを強化していきたい。



一 自主防災組織化の推進について
二 与那城、東照間地内賃貸工場について
三 浜比嘉島リゾート計画について

東浜光雄

一 自主防災組織化の推進について

質問 災害からいち早く住民の避難誘導、救助を行い、安全を最も守れるのは、地域の住民だと言われている。その態勢の確立をしていくためには、各自治会と連携し、自主防災組織化の推進を行っていく必要があると思うが。

答弁 総務部長 隣近所が役割を分担し、力を合わせて助け合うことが、自主防災組織に求められている。普段から生活環境を共有している自治会単位で結成されるのが望ましい。日頃から防災知識の普及や災害時要援護者、災害危険箇所等の把握並びに防災訓練が行なえる自主防災組織の育成に努めたい。

質問 本市の防災計画を具体化し、確かな実施計画をつくり、防災訓練を実施するためには、防災に詳しい専門家の視点は重要だと言える。防災の確かな基盤を作り上げて行くには、消防署の職員を防災担当として人事交流をさせていく考えはないか。

答弁 総務部長 消防職員との人事交流については、人事担当部署、消防本部と調整し検討していきたい。

二 与那城、東照間地内賃貸工場について

質問 平成二十年三月に企業が工場を撤退してから九カ月経過した現在も閉鎖されている状況は、本市の財政に大きな損失をもたらしているが、早めの対応がとれなかったのか。

答弁 経済部長 企業に対し営業の再開をお願いしてきたが、九カ月経っても回答がなく、対策会議の中で、企業の公募に至ったということである。

質問 工場の利用について、本市在の農事組合法人、漁業組合等の連携のもと、工場の一階部分に農漁産物を大々的に集積し、直売所とし、二階部分を直売所で買い求めた物を料理して頂くレストランとして活用することで大きく活性化に繋がると考えるが。

答弁 経済部長 各漁協、JAとも話し合いをしながら前向きにアタックしてみたい。

三 浜比嘉島リゾート計画について

質問 浜比嘉島リゾート計画について伺う。

答弁 企画部長 平成二十年一月にバンヤンツリーが直接進出を表明。それを受け、審議委員会、地権者等にホテル誘致に伴う地域活性化に関する説明会を開催している。



一 消防行政について
二 教育行政について
三 公園等の整備について

下門 勝
しもじょう まさひろ

一 消防行政について

質問 平成十八年六月に消防組織法の一部改正され、第四章市町村消防の広域化が追加された。広域化に伴うメリット、デメリットを伺う。

答弁 消防長 メリットは災害初動体制の強化、増援体制の充実、予防、緊急業務の高度化及び専門化、高度な資機材整備、管轄区域適正化による現場到着の短縮。デメリットは住民との親近感の薄れ、また消防職員の人事異動が広範囲になる事。

二 教育行政について

質問 児童生徒の教職員への暴言、暴力的行為の件数と、不登校、早退、遅刻の要因、またモンスターペアレント的諸問題の件数を伺う。

答弁 指導部長 中学で暴力的行為が十八年一件、十九年二件、二十年五件。不登校が十八年小学で三十名、中学で百五十三名、十九年小学で三十四名、中学で百三十九名、二十年十一月現在小学で十八名、中学で百七十名です。不登校の要因で多い順に①遊び非行型②無気力型③情緒的混乱型です。モンスターペアレントに近いものとして、十八年一件、十九年三件、二十年十月現在三件です。
質問 複雑多様化する問題に対し、教職員、教育委員会も限界が近づいているのではないか。モンスターペ

アレント、虐め、虐待、不登校、暴力行為、学習障害など複雑な問題に対し医療的、保健的な立場等、専門的な知識が必要である。一人でも多くの子供達の問題を解決するためスクールソーシャルワーカーの導入をすべきである。当局の所見を伺う。

答弁 指導部長 来年一月頃、文科省から募集がある。積極的にスクールソーシャルワーカーの活用事業に参加していきたい。

三 公園等の整備について

質問 現在進行中と今後の公園事業の計画されている地域及び事業費を伺う。

答弁 都市計画部参事 新規整備中の公園は具志川地区の昆布公園で総事業費八億二千八百四十四万円、石川地区で親田原公園、さくらんぼ公園、伊波公園で総事業費は約五億五千九百九十八万円です。勝連、与那城地区では新規整備した公園はない。
質問 勝連地区の公園は、私が小学校低学年の頃にあった遊具がその数を減らした状態が残っている。今後の勝連地区の公園整備について伺う。
答弁 都市計画部参事 地域バランスを勘案し、みどりの基本計画に網羅して整備できるよう取組んでいきたい。



一 道路行政（県道二二四号線）について
二 上江洲バンタ公園整備事業について

名護盛治
なごせいじ

一 道路行政（県道二二四号線）について

質問 県道二二四号線（仲嶺ハイツから喜屋武マープ公園に通ずる）約1km区間は、道路の幅が狭く、支障をきたしている。この件については、平成六年の旧具志川市の定例議会を皮切りに、幾度となく整備の必要性、緊急性を取り上げた経緯がある。承知のとおり、市の消防車や救急車及びうるま署のパトカーは、事件、事故、犯罪、災害などに対する緊急の出勤時にこの道路を使用しており、早急に整備が必要であると認識している。同区間の道路整備の促進に向けての取り組み状況について伺う。

答弁 建設部長 県道二二四号線の道路拡張については、平成十八年十一月三十日上江洲、喜仲、平良川自治会から地権者の同意が伝えられて拡幅整備要請がされている。これを受けて市は平成十九年二月市長から沖縄県知事あてに整備要請を提出しており、引き続き市としては、強くこの道路の整備

要請を行っていきたい。

二 上江洲バンタ公園整備事業について

質問 上江洲バンタ公園整備事業については、執行部に対して幾度となく訴えてきた。同公園の整備事業は、私自身の上江洲区民に対して議員活動の公約の中で大きな事業である。上江洲区民がこの事業に対しての強い思い入れ及び意志が平成十九年九月十日に行った要請行動である。メンバーは、自治会長、評議員長、歴代の自治会長二名、老人会長と、いわば上江洲区の重鎮である。この公園整備事業に対しての市当局の所見を伺う。

答弁 都市計画部参事 上江洲バンタ公園整備事業については平成十九年九月に名護議員をはじめ、上江洲自治会の自治会長、地元有志の方々から要請を受けており、現在計画されている公園については、現在進めているみどりの基本計画に網羅し、公園整備事業計画を推進していきたい。



一 中原小学校新增改築工事について
二 側溝整備について
三 排水路整備について

たかえすけんじ
高江洲賢治

一 中原小学校新增改築工事について

質問 現在の進捗状況でA・B・C棟が二月中旬、屋内運動場及び水泳プールが三月中旬完了予定だが、間に合うのか何う。江洲城側の擁壁工事をする中で、そこに大きな岩があり当初計画では残す計画だったと思う。その岩が撤去されているがその理由を何う。運動場整備計画について、以前から運動場から砂ぼこりで周辺住民から苦情が多く、その対策として芝生化できないか。芝生化については鳥取市で先進的な事例があると聞いている。調査を検討する必要があると思う。

答弁 教育部長 中原小学校新增改築工事について現在の進捗状況（十二月末予想）A棟約八十五%、B棟約七十五%、C棟約五十%、来年二月中旬に各棟工事を完了予定であり、三月から新校舎での事業が受けられる。大岩については、現状調査の結果、根元からの石ではなく、浮いている石で地盤も比較的もろいということが判明した。校庭で遊び、遊んでいる子供たちが万一にもこの石が崩落した場合にはいけないということと、学校を管理する教育委員会として、重要な責任問題になることから、この石を撤去するという結論に達した。運動整備については、今

設計の段階ですが、今の紛じん対策工事の中で十分なのか、それとも鳥取県的那样いったことが可能かどうか、検討していきたい。

二 側溝整備について

質問 江洲一―一番地から六七七六番地間は幅員が狭い上、子供たちの通学路となっている。登下校時には大変危険な状態で、早急に側溝整備できないか何う。

答弁 建設部長 この側溝整備については維持管理費の範ちゆうで下流側から内側に倒れている部分を特に重点的に、来年度から年次的に整備していきたい。

三 排水路整備について

質問 志林川自治会の高江洲九一九番地から九六七番地間の排水路は素ぼり排水のため生活排水がたまり悪臭や蚊の発生源となり、大雨のときには隣接する土地が浸食されている。早急に排水路整備が必要だと思うが。

答弁 建設部長 道路排水路整備については、緊急性を第一に全体のバランスを考えながら整備計画を進めている。この部分については、かなり事業費がかさむということが予想され、全体的にこの地域の排水計画も含めて検討する必要があると思っている。



一 うるま市の地域防災計画について
二 教育行政について

あさとじゅんてつ
安里純哲

一 うるま市の地域防災計画について

質問 避難対策がとれるハザードマップの作成は出来ているのか又指定している場所が避難場所として適正な場所であるか何う。

答弁 総務部長 うるま市防災マップとして平成十八年の三月に作成をし、同年六月には全世帯に配布をしている。又防災マップは災害時の避難場所などに主眼を置いて表示しているが特に津波時の避難場所として土砂洪水災害等の災害時の避難場所を区分しており災害にあわせて適切な避難が出来るよう作成している。

二 教育行政について

質問 教育委員会の諮問機関である「うるま市教育振興推進委員会」がうるま市立学校適正規模、適正配置等に関する事、適正化について最終答申書として平成二十年二月十三日に提出されている。その後について何う。

答弁 指導部参事 鳥しよ地域における小学校の視察で目的は学校適正化の調査検討で学習状況と学校経営の概況を把握するための学校訪問を行った。

質問 「教育振興推進委員会」を設立する前に複式学級を救済するための対策、対応が必要ではなかったかと思うが。

答弁 指導部参事 与勝地域の学校施設問題、離島を抱える勝連地域のへき地教育の振興策など、少子化に伴う児童生徒の減少への対策等を含めまして、教育委員会としては、それらの対応も重要であり急務とのことで取り組む必要があり、「教育振興推進委員会」を立ち上げて諮問してきた。鳥しよ地域における学校存続については検討委員会の設立については対応していない。

質問 適正化の裏側に学校統廃合が見え隠れしているように思うが。

答弁 教育長 地域住民の意見を含め今後の学校の適正化に向けて検討、審議していきたい。



一 うるま祭りについて
二 教育行政について

なかまぎ なるまき
名嘉真宜徳

一 うるま祭りについて

質問 市民から、苦情として「ステージが1カ所しかない」「歩行者天国がない」「駐車場が遠い」「具志川祭りのほうが良かった」と、そのような声が聞こえる。主催者として今年のうるま祭りを全体的にどのように評価しているか。開催場所は適当であったか伺う。

再開催されているか伺う。

答弁 教育長 教育委員会の最高責任者は教育委員長です。

答弁 教育部長 平成十九年度は、定例会十二回、臨時会が三回開催されている。

質問 多様化した生徒や父母への対応、携帯電話等の問題等、学校現場や教師だけでは解決できない。行政側の抜本的な施策が望まれる。全児童生徒を対象にした教育を底上げする事業を展開してほしい。

答弁 指導部長 教育指導施策の中で細かな内容については、毎年見直しをして新しいものを入れていく。今後新たな事業、予算が必要なものに関しては、財政当局とも協力し一緒に取り組んでいきたい。

答弁 市長 教育委員会は、自主自立、委員会の考え方を基本にして、学校教育に取り組んでいる。まちづくりの基本は人づくりという理念を大切にしながら、人材育成に努めているものと確信している。

二 教育行政について

質問 うるま市の教育委員会の最高責任者はどなたで、委員会は年間何

一 うるま市長選挙について

質問 うるま市の市長選挙が平成二十一年四月に行われることが予想される。うるま市は大学院大学の関連事業、そして州崎地域におけるIT関連の大型事業があり、この四、五年がうるま市が発展するか、否かの基礎をつくる大事な時期です。この時期に、実績のある知念市長は十一万七千市民のリーダーとして頑張つてほしい。私は現職の市長として、市長選挙が四カ月後に迫った今、出馬する、しないの意志を明確にするべきと思うが。

答弁 市長 選挙については極めて重要なことです。意志表示については、行政的、政治的課題をどのように具体的に形で実現していくか、併せて市民福祉の向上を通して市政の発展にどう向き合っていくのか。そのことも十分考慮し、早い時期に諸先輩方とお世話になった多くの方々、市民の意向も、自分自身、確認しながら早い時期に決断したい。

二 インターナショナルスクールの誘致について

質問 インターナショナルスクールの誘致について、多くの議員から、いろいろな形、角度から質問があった。

市長がこれからのことを踏まえて最終的に誘致した理由について伺う。

答弁 市長 うるま市は、大学院大学の立地に伴い、そのキャンパスタウンエリアとして、石川地域周辺が指定されている。その中でインターナショナルスクールが我がうるま市に誘致されることは地域の活性化へとつながり、人材育成、国際交流、産業振興など各分野により影響を与えるものと思う。この学校を誘致することが市民、県民の為に、又国際的な場で活躍、貢献できる人材の育成につながるかと判断したからです。

質問 インターナショナルスクールを政策的判断をもって誘致した理由は分かりました。何故野外レクセンターの地になのか伺う。

答弁 市長 市として、他に何力所か提案したが、沖縄県・旺文社としては野外レクセンターの地が最適と判断した。インターナショナルスクールの誘致は千載一遇のチャンスでありそれを生かしたいということ、又他の地域へもつていかなれないこと、更に野外レクセンターの役割は市内の運動公園、体育館等である程度カバーできると考えたからです。



一 うるま市長選挙について
二 インターナショナルスクールの誘致について

くたか たかあき
久高唯昭

平成20年12月 第42回うま市議会定例会議決結果

議案番号	案 件 名	議決結果
認定第2号	平成19年度うま市一般会計歳入歳出決算認定について	認 定
認定第3号	平成19年度うま市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
認定第4号	平成19年度うま市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
認定第5号	平成19年度うま市老人保健特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
認定第6号	平成19年度うま市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
認定第7号	平成19年度うま市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
報告第18号	専決処分の報告について(中原小学校校舎増改築併行防音工事(建築A棟))	報 告
報告第19号	専決処分の報告について(中原小学校校舎増改築併行防音工事(建築B棟))	報 告
報告第20号	専決処分の報告について(中原小学校校舎増改築併行防音工事(建築C棟))	報 告
報告第21号	平成19年度決算に基づくうま市健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	報 告
報告第22号	専決処分の報告について	報 告
報告第23号	専決処分の報告について(車両物損事故)	報 告
議案第93号	平成20年度うま市一般会計補正予算(第3号)	原案可決
議案第94号	平成20年度うま市国民健康保険特別会計補正予算(第5号)	原案可決
議案第95号	平成20年度うま市老人保健特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第96号	平成20年度うま市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第97号	平成20年度うま市介護保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第98号	平成20年度うま市公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第99号	土地の処分について	原案可決
議案第100号	うま市市道路線の廃止、認定及び変更について	原案可決
議案第101号	うま市土地開発公社定款の一部を改正する定款	原案可決
議案第102号	土地の取得について(石川中学校用地)	原案可決
議案第103号	津堅小中学校校舎改築工事(建築B棟)請負契約についての議決内容の一部変更について	原案可決
議案第104号	うま市津堅島介護保険地域密着型サービス施設指定管理者の指定について	原案可決
議案第105号	うま市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第106号	うま市税条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第107号	うま市学習等供用施設その他の施設条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第108号	うま市保健相談センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第109号	いちゅい具志川じんぶん館条例の全部を改正する条例	原案可決
議案第110号	石川地域活性化センター舞天館条例の全部を改正する条例	原案可決
議案第111号	具志川野外レクリエーションセンター条例を廃止する条例	否 決
議案第112号	うま市営住宅条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第113号	訴えの提起について	原案可決
議案第114号	うま市国民健康保険条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第115号	中原小学校屋内運動場及び水泳プール増改築工事(建築)請負契約についての議決内容の一部変更について	原案可決
発議第47号	WTO農業交渉に関する意見書	原案可決
発議第48号	米空軍・海兵隊の合同即応訓練に対する意見書	原案可決
発議第49号	米空軍・海兵隊の合同即応訓練に対する抗議決議	原案可決
発議第50号	鳥島射撃場及び久米島射撃場の早期返還に関する意見書	原案可決
発議第51号	「協同出資・協同経営で働く協同組合法(仮称)」の速やかな制定を求める意見書	原案可決
陳情第41号	「協同出資・協同経営で働く協同組合法(仮称)」の速やかな制定を求める意見書」採択を求める陳情	採 択
陳情第54号	肥料・飼料価格高騰に関する生産者支援の要請	採 択
	うま市議会議員定数調査特別委員会の設置について	西野一男議員11名

平成21年2月 第43回うま市議会臨時会議決結果

議案番号	案 件 名	議決結果
報告第1号	専決処分の報告について(車両人身事故)	報 告
報告第2号	専決処分の報告について(公共施設事故)	報 告
議案第1号	平成20年度うま市一般会計補正予算(第4号)	原案可決
議案第2号	平成20年度うま市公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決
議案第3号	うま市健康福祉センター駐車棟建設工事(建築)請負契約についての議決内容の一部変更について	原案可決

うるま市議会組織構成図

議長 しまぶくろ 島袋 とし お 俊夫
副議長 にし の 西野 かす お 一男 (H20.5.21選挙)

平成20年12月24日
任期 自 平成18年10月20日
至 平成22年10月19日

議会運営委員会(12人)						
◎徳田 <small>とくだ まさのぶ</small> 政信	伊盛 <small>い もり さちこ</small> サチ子	島袋 <small>しまぶくろ こうせい</small> 行正	中村 <small>なかむら まさと</small> 正人	名護 <small>なご せいじ</small> 盛治	松田 <small>まつだ ひさお</small> 久男	
○金城 <small>きんじょう かつまさ</small> 勝正	久高 <small>く だか ただあき</small> 唯昭	下門 <small>しもじょう まさる</small> 勝	仲本 <small>なかもと たつ お</small> 辰雄	東浜 <small>ひがしはま みつ お</small> 光雄	西野 <small>にし の かす お</small> 一男	

常任委員会				特別委員会			
企画総務(7人)	建設(8人)	教育福祉(7人)	市民経済(8人)	基地対策(12人)	議会広報調査(10人)	議会史編さん(8人)	議員定数調査(12人)
◎下門 <small>しもじょう まさる</small> 勝	◎名護 <small>なご せいじ</small> 盛治	◎島袋 <small>しまぶくろ こうせい</small> 行正	◎中村 <small>なかむら まさと</small> 正人	◎東浜 <small>ひがしはま みつ お</small> 光雄	◎川上 <small>かわかみ ひでとも</small> 秀友	◎照屋 <small>てるや よしまさ</small> 義正	◎西野 <small>にし の かす お</small> 一男
◎照屋 <small>てるや よしまさ</small> 義正	◎大屋 <small>おおや せいぜん</small> 政善	◎喜屋武 <small>きやん しょうしん</small> 正伸	◎安慶名 <small>あげな まさのぶ</small> 正信	◎松田 <small>まつだ ひさお</small> 久男	◎名嘉真 <small>な か ま ぎ とく</small> 宜徳	◎松田 <small>まつだ ひさお</small> 久男	◎徳田 <small>とくだ まさのぶ</small> 政信
かわの <small>かわの しん や</small> 進也	あさと <small>あさと じゅんてつ</small> 純哲	おくだ <small>おくだ おさむ</small> 修	いは <small>いは よしのり</small> 良紀	おおや <small>おおや せいぜん</small> 政善	いもり <small>いもり さちこ</small> 伊盛	いもり <small>いもり さちこ</small> 伊盛	く だか <small>く だか ただあき</small> 唯昭
たなか <small>たなか なおつぐ</small> 直次	かわかみ <small>かわかみ ひでとも</small> 秀友	きんじょう <small>きんじょう かつまさ</small> 勝正	いもり <small>いもり さちこ</small> 伊盛	きやん <small>きやん しょうしん</small> 喜屋武	かわの <small>かわの しん や</small> 進也	おくだ <small>おくだ おさむ</small> 修	きんじょう <small>きんじょう かつまさ</small> 勝正
なかもと <small>なかもと たつ お</small> 辰雄	く だか <small>く だか ただあき</small> 唯昭	な か ま <small>な か ま ぎ とく</small> 宜徳	ながたまえ <small>ながたまえ やすし</small> 靖	しまぶくろ <small>しまぶくろ こうせい</small> 行正	きやん <small>きやん しょうしん</small> 喜屋武	ひが <small>ひが あつこ</small> 敦子	なかもと <small>なかもと たつ お</small> 辰雄
ひがしはま <small>ひがしはま みつ お</small> 光雄	たかえす <small>たかえす けんじ</small> 賢治	ひが <small>ひが あつこ</small> 敦子	にし <small>にし の かす お</small> 一男	しもじょう <small>しもじょう まさる</small> 勝	たかえす <small>たかえす けんじ</small> 賢治	ひがしはま <small>ひがしはま みつ お</small> 光雄	いもり <small>いもり さちこ</small> 伊盛
みやぎ <small>みやぎ しげる</small> 茂	またよし <small>またよし あきら</small> 暎	とくだ <small>とくだ まさのぶ</small> 政信	みやざと <small>みやざと ちようせい</small> 朝盛	たなか <small>たなか なおつぐ</small> 直次	なかむら <small>なかむら まさと</small> 正人	またよし <small>またよし あきら</small> 暎	なかむら <small>なかむら まさと</small> 正人
	まつだ <small>まつだ ひさお</small> 久男		やましる <small>やましる えいしん</small> 榮信	なかむら <small>なかむら まさと</small> 正人	なかもと <small>なかもと たつ お</small> 辰雄	く だか <small>く だか ただあき</small> 唯昭	あさと <small>あさと じゅんてつ</small> 純哲
				ひが <small>ひが あつこ</small> 敦子	なご <small>なご せいじ</small> 盛治		かわの <small>かわの しん や</small> 進也
				みやざと <small>みやざと ちようせい</small> 朝盛	にし <small>にし の かす お</small> 一男		まつだ <small>まつだ ひさお</small> 久男
				やましる <small>やましる えいしん</small> 榮信			ながたまえ <small>ながたまえ やすし</small> 靖
				あさと <small>あさと じゅんてつ</small> 純哲			かわかみ <small>かわかみ ひでとも</small> 秀友

◎ 委員長 ○ 副委員長 (委員は五十音順)

中部北環境施設組合 議会議員(7人)	中部衛生施設組合 議会議員(4人)	沖縄県後期高齢者医療 広域連合議会議員(1人)	監査委員	都市計画審議会委員
あげな <small>あげな まさのぶ</small> 正信	あさと <small>あさと じゅんてつ</small> 純哲	ひが <small>ひが あつこ</small> 敦子	おくだ <small>おくだ おさむ</small> 修	あさと <small>あさと じゅんてつ</small> 純哲
おおや <small>おおや せいぜん</small> 政善	とくだ <small>とくだ まさのぶ</small> 政信	(平成19年3月27日選挙)	(平成20年6月30日選任)	やましる <small>やましる えいしん</small> 榮信
しもじょう <small>しもじょう まさる</small> 勝	ひがしはま <small>ひがしはま みつ お</small> 光雄			
な か ま <small>な か ま ぎ とく</small> 宜徳	く だか <small>く だか ただあき</small> 唯昭			
またよし <small>またよし あきら</small> 暎	(平成20年6月30日選挙)			
かわかみ <small>かわかみ ひでとも</small> 秀友	(平成19年6月28日選挙)			
やましる <small>やましる えいしん</small> 榮信				

議員数	議員の年齢	政党	会派
法定数 34人	最高齢 67歳	公明党 2人	新政クラブ 14人 公明 2人
条例定数 34人	最年少 40歳	日本共産党 2人	政策研いぶき 6人 日本共産党 2人
現員数 31人	平均 56歳	無所属 27人	新かけはし 6人 無所属 1人

※H19.6.18 徳田政信議員は、教育福祉常任委員会へ所属変更 ※H19.6.22 松田久男議員が議会運営委員会委員に選任された。
 ※H20.6.11 西野一男議員が議会運営委員会委員、H20.6.16 安里純哲議員が基地対策特別委員会委員、久高唯昭議員が議会史編さん特別委員会委員に選任された。
 ※H20.6.30 奥田修議員が監査委員に選任、久高唯昭議員が選挙により中部衛生施設組合議会議員となった。 ※H20.12.24 議員定数調査特別委員会設置

平成20年議会活動状況

1. 議案等の審査結果

区分	回数	会期日数	本会議日数	議案処理結果					陳情					意見書	決議	
				原案可決 同意・承認	修正可決	否決	認定	不認定	採択	不採択	一部採択	趣旨採択	継続審査			審議未了
定例会	4	89	37	99	0	1	7	0	10	0	1	0	16	0	15	6
臨時会	9	11	10	25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15	15
計	13	100	47	124	0	1	7	0	10	0	1	0	16	0	30	21

2. 各常任委員会・特別委員会活動

	委員会名	会期中	閉会中	合計
常任委員会	企画総務委員会	11	1	12
	建設委員会	12	—	12
	教育福祉委員会	11	—	11
	市民経済委員会	12	—	12
特別委員会	基地対策委員会	18	11	29
	議会広報編集調査委員会	2	2	4
	議会史編さん委員会	1	2	3
	議会運営委員会	9	9	18

3. 一般質問・傍聴者（延べ人数）

	定例会	臨時会	計
一般質問	87	0	87
傍聴者	165	13	178

平成20年行政視察受入状況

合計	11	10	8	7	6	5	3	2	1	月																			
二十七市町	福島県白河市	兵庫県たつの市	長崎県松浦市	山口県岩国市	岩手県盛岡市	神奈川県川崎市	鹿児島県天城町	鹿児島県天城町	大阪府茨木市	兵庫県赤穂市	福岡県田川市	東京都多摩市	大阪府高槻市	福島県いわき市	北海道網走市	山口県防府市	岩手県盛岡市	大阪府貝塚市	北海道北見市	愛媛県新居浜市	三重県松阪市	大分県日田市	鳥取県米子市	埼玉県行田市	千葉県市川市	熊本県上天草市	愛知県東海市	宮崎県宮崎市	市町村名
	エスコ事業について	環金武湾健康寿命・バイオマスについて	海の駅あやはし館	防衛観覧事業等について	バイオマスのまちづくり・観光について	バイオマスの市の取り組みについて	畜産の取り組み状況	石川多目的ドーム・あやはし館	窓口市民サービス評価について	農村基盤整備	市QOLプロジェクトについて	行政改革・文化行政	EMについて	地域再生QOLプロジェクト	海の駅の民間委託について	バイオマスタウン構想について	観光政策について	企業育成・商品開発について	地域提案型雇用促進事業について	補助金制度・いちゅいじんぶん館について	特産品を活かした観光	基地対策について	行政改革の取り組み	世界遺産・文化財保護について	海の文化資料館について	EMについて	IT事業支援センター	基地対策について	主な視察項目
167	5	8	12	5	14	6	8	8	6	5	6	4	5	5	6	4	2	3	7	7	4	5	4	4	1	9	10	4	人数

うるま市議会では、各常任委員会の所管に関する事項について先進地に出向き、施策の状況を調査・視察を行い、今後の委員会及び議会活動に資することを目的とし、行政視察を行いました。
(視察地・調査事項は下記のとおりです。)

企画総務委員会 (平成二十年十一月十八日～二十日)

- 兵庫県神戸市
阪神・淡路大地震記念館人と防災未来センター
- 兵庫県加古川市
加古川グリーンシティ防災会
- 兵庫県たつの市
豊かな自然、歴史、先端科学技術を活かしたまちづくりについて



企画総務委員会：兵庫県たつの市役所

建設委員会 (平成二十年十一月十八日～二十日)

- 神奈川県厚木市
防災公園について ぼうさいの丘公園
- 千葉県柏市
防災公園について 中原ふれあい防災公園
- 千葉県山武市
海浜公園について 蓮沼海浜公園



建設委員会：千葉県柏市中原ふれあい防災公園

行政視察



教育福祉委員会 (平成三十年十月二十八日～三十一日)

○ 北海道釧路市 こども遊学館・東雲小学校
学校統廃合・廃校施設の跡利用・特色ある教育について

○ 北海道浦河町 「べてるの家」
統合失調症精神障害者の活動、取り組みについて



教育福祉委員会：北海道浦河町「べてるの家」

市民経済委員会 (平成三十年十一月十二日～十四日)

○ 千葉県富津市
富津火力発電所内 TEPSCO新エネルギーパーク

○ 神奈川県川崎市
リサイクルエコショップについて
ゼロミックスン工業団地

○ 千葉県野田市 コミュニティバスについて



市民経済委員会：千葉県野田市 コミュニティバス (ほとバス)

「うるま市観光三大イベント モニタリングツアー」

うるま市観光三大イベントは、平成20年12月12・13日、平成21年1月30・31日の4日間、石川多目的ドーム、石川会館、きむたかホールで開催された。本イベントは、国の支援とうるま市の取り組みによる県内外からの観光客誘致を目的とした「モニタリングツアー」です。迫力ある「闘牛」、伝統芸能の「エイサー」、地元中・高校生が演じる歴史ミュージカル「肝高の阿麻和利」が行なわれた。

感じて下さい
動きだすうるま市
観光の息吹を！

